

○ 令和5年5月25日開催
第112回近畿ブロック知事会議における西脇知事の発言

1. 国への提案要望

○文化財の保存・活用の取組への支援の充実〔京都府・滋賀県提案〕

（京都府 西脇知事）

- ・ 大幅に補助金が減額されたことは京都府も同じで、特に建造物保存修理で見送りになっている5事業については、内定額が0円ということで、着手できず非常に困っております。予算確保を確実にお願いしたいです。
- ・ 出土品につきましても、先ほどの恒常的な専用の施設、それから仮置き施設の、一部は廃校施設などを一時的に借用して保管をしておりますし、市町村においても非常に保存スペースが限られているということで、市町村分の一部を京都府が保存管理をしている状況がございます。収蔵施設の整備とか保存修理にかかります財政措置の拡充についても、是非ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

○府県民の政治参加の促進〔鳥取県提案〕

（京都府 西脇知事）

- ・ 例えばインターネットの投票、証紙の話とか、政見放送について、選挙制度を簡単に換えられるところがたくさんあると思ひます。それと、平井知事がおっしゃっていた民主主義の根幹に関わるような全体の政治参加の話とか、分けてもいいと思ひますけど、ただできる改革は地方の方から現場感覚で打ち出していき、それが少しでも改善している姿を見せれば、大きな議論に繋がっていくと思ひます。ずっと議論していると結論が出ないのですが、できるところから改革して取り組むべきではないかと思ひます。

○中山間地域の生活環境確保（買物、交通、医療等）について〔鳥取県提案〕

（京都府 西脇知事）

- ・ 非常にこれは大事なことで、総合的に、責任を負う所在をどこにもっていくのかだと思ひます。私は国土交通省におりまして総合政策局長の時に、公共交通の活性化再生法の改正に携わり、初めて地方公共団体が関与する仕組みを法律の中に入れました。そのため、この医療も含め、買い物について、それぞれ個別にどのように要望としてまとめていくのか、知事会長でもある、平井会長のイメージがあれば教えてほしいです。
- ・ 医療については、コロナが始まる前、診療科の偏在の問題とか、キャリアの制度とかで、全国知事会で意見を申し述べていました。コロナで一度議論が止まっているのですが、いずれ似たような議論になりますので、この提案書はこの内容でいいと思ひますけれども、中山間地域だけではなく地域医療については、知事会としてもきちっと意見を持って申し上げる必要が出てくるのではないかと思ひます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

○JRローカル線の維持・活性化について [兵庫県提案]

(京都府 西脇知事)

- ・ 民営化時の議論は国民負担によって進めていく形態でしたけれども、考えてみれば路線ごとに全部黒字はありえません。そこは濃淡があるはずですので、全体のネットワークを維持することが、JR各社に与えられる1つの使命です。資料には、国の責務として書いてありますが、それをまずベースにしないとイケませんし、個別路線ごとの収支は大事だと思うのですが、立ち位置の関係も非常に重要です。
- ・ もちろん地元での利用促進や、JRの営業努力も当然ですが、鉄道ネットワークを維持する責務がありますので、私の方も提案に賛成します。